



©Yuki Asada

## 五方よし！ みんなが幸せになるコーヒー

近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」という「三方よし」の理念に「作り手よし、地球環境よし」の2つを加えたコーヒーが、フィリピン・ルソン島北部の山岳地帯から届いた。

京都に本社を置く有限会社シサム工房が販売する「SISAM COFFEE」は、山に暮らす人々が手間暇かけて育てた生豆を日本へ運び、京都にある焙煎所で加工してもらった香り高いコーヒーだ。

生豆の生産者とシサム工房をつないだのは、環境保全と先住民族の暮らしの向上を目指し活動しているNGO「コーディネラ・グリーン・ネットワーク (CGN)」。

樹木の植栽と同時に農作物の栽培や家畜の飼育を行うアグロフォレストリーによるコーヒー栽培が森林を保全し、住民の

収入にもつながると考えたCGNとシサム工房が出会ったことがきっかけで、2013年9月にSISAM COFFEEの販売が始まった。

CGN代表の反町眞理子さんによると、農家はコーヒー豆の生産だけで1年に約20万円の収入を得ているという。他の換金作物の売り上げと合わせると、大卒教師の収入と比べても遜色がない。

シサム工房の池澤匡彦さんは、反町さんの「私たちが目指すのは、一人のための最高のコーヒーじゃなくて、みんなが幸せになれるコーヒーなんだよね」という言葉が印象深いと話す。CGNと共に地域の環境と人々の生活を守りながら質の高いコーヒーを作る農家を増やしていきたいそうだ。



天日干した生豆をチェックする生産者

★ SISAM COFFEE深煎りドリップボックスを1人にプレゼント！ → 詳細は38ページへ

★ 商品はシサム工房の東京、京都、大阪、神戸の8店舗の他、オンラインストアでも購入できます。  
<http://www.sisam.jp/store/>



ルソン島  
コーディネラ地方

フィリピン